

ロータリー財団ニュースレター

(2012年1月17日)

全世界のロータリークラブが2億ドルの募金チャレンジの目標を達成

国際ロータリーは、ポリオ撲滅を目的としたビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの補助金に定める「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の目標額2億ドルをついに達成しました。1月17日現在、募金総額は2億260万ドルとなっています。

ロータリー財団の管理委員を務めるジョン F. ジャーム氏は、サンディエゴで開催中の国際協議会で、次のように述べました。「私たちは、今回の達成を祝うべきですが、これで募金やポリオへの認識向上運動を止めるわけではありません。全世界からポリオが根絶されるまでは、この活動を止めることはできません」

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からロータリーに授与された3億5,500万ドルのチャレンジ補助金に定めるため、ロータリーは、独自に目標2億ドルを集める募金キャンペーンを展開してきました。ポリオはワクチンで予防が可能であるにもかかわらず、現在も子どもたちがポリオに感染している国があります。集められた資金は全額、感染者が出ているこれらの国での予防接種の支援に充てられます。

目標達成のニュースに続き、ゲイツ財団の最高執行責任者であるジェフ・レイクス氏が、新たな追加補助金をロータリーに授与することを国際協議会で発表しました。「今回のロータリーの素晴らしい達成を称えとともに、皆さまのさらなるご健闘を願い、当財団は、さらに5千万ドルの追加補助金を授与することを決定しました。」

これにより、私たちのパートナーシップがさらに発展することを願っています」 さらに、レイクス氏は次のように続けました。「世界からポリオを撲滅する活動は、ロータリーが始めたものであり、これからも、民間による募金や草の根の参加を促し、ポリオ撲滅を各国政府の優先項目として掲げてもらうために、ロータリーが中心的な役割を果たしていくでしょう」

40周年記念開催のお知らせ

小林 弘 実行委員長

日 程 2012年11月17日(土)

場 所 聖徳大学10号館 14階



ニコニコBOX

児山守治 幹事

雪の例会となりました。

ここで一句

鱈酒や 想い巡らせ 酔いつぶれ

(美味しい酒のあれこれを 感じながら

酒量を忘れて酔ってしまう

・・・の一句です)

『お客さま』

「お母さん食品館」
代表取締役
庄司 進様



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌
・広報委員会》

委員長：伊師 剛迪
委員：平田 洋一

副委員長：大川 隆永
委員：高崎 卓哉

社会奉仕基金
3,956円

WEEKLY REP  RT

**国際ロータリー第2790地区第12分区
松戸北ロータリークラブ**



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1903回 例会 (第 28 週) 2012年 1月24日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー
第2790地区ガバナー 山田修平
第12分区ガバナー補佐 安井克一
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗
松戸北ロータリークラブ幹事 児山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ポウル1F
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけてよう

2012年 1月24日
会長挨拶

会長 鈴木悦朗

皆さんこんにちは。昨日はテニスの錦織圭選手が、全豪オープンでベスト8進出し大学時代体育会テニス部にいた私としては「いい試合をしている。勝つかも说不定。」と試合中にフェイスブックで教えてくれた先輩や同僚とともに感動いたしました。

日本人男子選手として、世界4大会でベスト8に入ったのは、松岡修造選手が、ウィンブルドンで1995年に達成して以来の快挙です。フルセットタイブレークで勝つという見事な勝利で、いままで、最初のうちはリードしていても途中で崩れていた錦織選手が、肉体的にも精神的にも成長したようです。日本のために、今後もがんばってほしいものです。

さて、昨夜は夜半からみぞれが本格的な雪となり、だいぶ雪が積もりましたね。都市部・俗世間では、歩きにくくて、雪かきが大変ですけども、東漸寺の中に入ると別世界。ゆったりとした時間の中で、美しい雪景色が広がっております。そんな風景を見ると「雪月花」という昔からある日本人の感性を培ってきたことばを思い出します。

雪月花は、もともと中国の唐の時代、白居易(白楽天)の詩「寄殷協律」の一句「雪月花時最憶君(雪月花の時、最も君を憶ふ)」にでてくることばで雪・月・花という自然の美しい景物を指すことばですが、奈良・平安時代より、四季の美しい日本においてはこの語句が格別に愛好されました。

このように、中国古典には素晴らしいものがありますが、現代の中国には、文化大革命、共産党の統治によって残っていないことが多いようです。中国古典の良さが、受け継がれているのは現代中国よりむしろ日本です。宮廷文化あるいは戦国時代という時代を経た日本にはリーダーとして必要なものであったのでしょうか。さらにこの雪月花のように日本人の素晴らしい感性によって、より磨かれて残っている場合が多いと思われまます。

また四書五経といった帝王学ともいえる中国の古典は、今、日本のビジネス・リーダーにとってブームとなっています。現代のような国家の混乱期には、真のリーダーシップが試される中で、リーダーとして中国の古典は、長期的に考える。多角的に考える。

本質的に考える。といった視点を学習させてくれるからです。目先に利益に溺れやすい現代の政界、経済界、マスコミ等の中で、みんなのために利益となるかを考える真のリーダーシップを教えてくれるからです。

ロータリーはある意味でみんなのためになる経営哲学、リーダーシップの勉強をするところです。今日は、中国古典の研究者である俞明鶴さん(大紀元新聞社)に、「中国古典に学ぶビジネス・リーダーシップ」あるいは「マスコミの報じる中国と本当の中国との違い」というお話としましたが、25分の時間の中では難しいとのこと、漢字の起源から学ぶ」という卓話を伺いたいと思います。どうぞご静聴ください。

例会変更のお知らせ

2月 7日(火) 8日(水)に変更 第12分区合同例会及びIM
点鐘 12:30
場所 松戸商工会議所 5F

2月14日(火)・・・夜間例会 諸事お祝い(シャトレ)
点鐘 18:30

卓話

中国古典の研究者 俞 明鶴 様

「漢字の成り立ちとその文化的背景」

漢字は、蒼頡という古代中国の伝説中の人物が発明したと伝わっている。蒼頡が造った象形文字を「文」と呼び、その後造られた形声文字を「字」と呼ぶ。「漢字」と名づけるようになったのは漢の時代に遡る。漢は約400年にわたって中国全土を支配し、文明も高度に発達し、周辺の諸民族にも強い影響力を誇示した。この時期、周辺民族から「漢人」と呼ばれ、「漢字」という名も異民族から逆輸入され、定着するようになった。

漢字は含蓄のある意味を含まれている。例えば、親孝行の「孝」は「老+子」から成り立っている。われわれが子供の時には、皆親におんぶしてもらっている。親が年をとって「老人」になれば、その恩返しで親をおんぶ姿が「孝」。「家」は「宀+豕」。「宀」は家の形、「豕」は豚を表している。豚の特徴は家畜の中でも子供をたくさん産む。子供をたくさん生み、勤勉であれば家も栄えるという意味。

「漢字は中国文化の伝達の生命線」

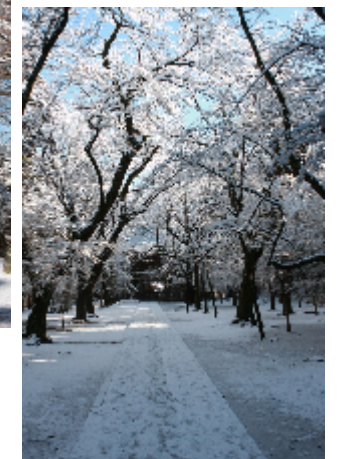
中国の伝統文化は「唐」を頂点に、宋の時代から絶え間なく衰退の道を辿ってきた。特にこの数十年、中国伝統文化は徹底的に破壊され、今日中国人は拝金主義、拝権主義に走り、伝統的な「忠恕」「仁義」を忘れかけている。現在、中国の簡略漢字では、「愛」を「爰」と書いている。「愛」の心が省かれている。「心」を込めてない「愛」とも言うべきか。「心臓」を「心脏」と呼ぶが、「脏」は「汚い」と意味である。特に文化大革命では中国伝統文化の命を革めたのである。

日本においては、5世紀から6世紀頃の漢字の輸入し、平安時代になると、日本固有の文化と中国文化を融合させ、日本文明を開花させた。現在の中国は、遣唐使が見た当時の中国とは異なる風景になっている。現代中国において伝統文化の復興が急務である。



東漸寺

昨夜は夜半からみぞれが本格的な雪となり、だいぶ雪が積もりました



ロータリーの奉仕哲学「超私の奉仕」Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。